



## ～協会からのお知らせ～

### ◇TALK&TALK英会話サロンを開催しました

11月11日に英語圏のネイティブスピーカーと英会話を楽しむTALK&TALK英会話サロンを開催しました。たくさんのご参加ありがとうございました。



### ◇ 外国人のための生活安全交流会を開催しました

11月21日に都城市内在住の外国の方を対象に生活安全交流会を開催しました。

消防局の方に火災予防や119番のかけ方について話していただき、また煙体験や消火器の使い方の指導をしていただきました。



### ◇ワールド・フェスタ in みやこのじょう2026開催!

ワールド・フェスタ in みやこのじょう2026を開催します。皆さまのご来場をお待ちしています。

日 時: 2026年2月8日(日曜日) 12:00~16:30

会 場: 都城市総合文化ホール

参加料: 無料

内 容:

- ・世界の様々な国の人との交流・遊び体験
  - ・海外のダンスや外国人による演奏など
  - ・国際交流・協力団体などの活動紹介パネル展示
- ※ウォークラリーで、先着150人に景品があります

### ☆ボランティアスタッフ募集中!

当日のブース準備、終了後の片付け、国紹介ブース補助、ステージ受付・案内、ステージ裏補助等のボランティアを引き続き募集しています。皆様のご協力をよろしくお願いします。

### ◇お問合せ先:

(一社)都城国際交流協会まで、電話またはEメールでお願いします。

電話 0986-23-2295

E-mail mia@btvm.ne.jp

## ～インフォメーション～ 他団体等からの情報

### ◇外国人住民による日本語スピーチコンテスト 出場者募集!

**【応募資格】①・②を満たす人**  
① 宮崎県内に住んでいる、日本語を母語としない  
16歳以上の外国人  
② 日本在住歴5年以内であること  
スピーチテーマ: みやざき  
(宮崎の生活で感じたことなど)  
スピーチ時間: 5分以内  
日時: 2026年2月1日(日)午後1時~午後4時  
会場: 宮崎県防災庁舎7階 防74号室、防75号室  
(宮崎市橘通東1丁目9)

締切: 1月9日(金) ※当日消印有効  
賞品: 最優秀賞: 10,000円分の図書券!  
優秀賞: 5,000円分の図書券

### 応募・お問い合わせ先:

公益財団法人 宮崎県国際交流協会

電話: 0985-32-8457

E-mail: miyainfo@mif.or.jp

詳しい情報はこちらへ→





## 「宮崎を私の故郷と選んだ理由：キルギスからの道のり」 キリギス出身ジュルディズさんの記事

はじめまして、キルギス出身のジュルディズと申します。

私の日本での生活は、2023年4月、初めて宮崎の地に降り立った時から始まりました。私にとってここは初めての海外かつ、日本で最初に触れた都市でした。そして、宮崎の風景にすぐに心を奪われました。

到着した時、宮崎がこれほどまでに日差しが強く、暖かいことに驚きました。沿道にヤシの木がずらりと並び、まるでハワイに来たかのような錯覚を覚えました。この南国のような、ゆったりとしたリゾートの雰囲気が、私を心地よく包み込みました。しかし、私が宮崎を選んだ本当の理由は、気候だけでなく、人にはあります。



当初は東京や名古屋のような大都市への留学を考えていましたが、学校の条件と先輩方の「宮崎の人々は親切で、生活しやすく、食べ物も美味しい」という推薦を聞き、ここに来ることを決断しました。東京の競争的な雰囲気と比べ、宮崎の生活コストの低さや温かい地域社会の雰囲気は、異国での新たなスタートを切る私にとって大きな魅力となりました。

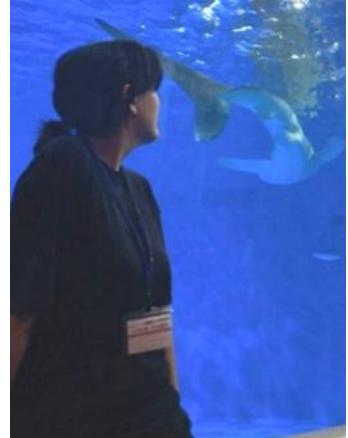
日本語学校で過ごした2年間で、宮崎は私にとって本当の故郷となりました。特に最初の頃は言葉の壁もあり大変でしたが、ここでは単なる友達以上の、本当の日本の家族を見つけることができました。私の「日本の母、祖母、そして妹」です。彼女たちの無償の温かさと愛情が、私が異国で孤独を感じさせないよう、適応する上で大きな支えとなりました。まさにこの、人との繋がりこそが、宮崎を私にとってかけがえのない家、そ



して第二の故郷にしてくれたのです。

卒業後、より大きな仕事の機会を求めて他の大都市へ移ることも考えました。しかし、東京のような場所ではコミュニティとの繋がりを感じられず、孤独になってしまうのではないかという不安を強く感じていました。そんな中で、私はここ都城で仕事を見つけました。これは単なる就職ではなく、宮崎の良さを活かせる場所で、自己実現の大きな可能性を見出せた瞬間でした。私の会社はまだ大きくありませんが、地元の素材を活かした抹茶などの新製品開発に取り組んでおり、新しい製品を通じて宮崎の魅力を国内外に発信できることに、やりがいを感じています。この地で働くことで、国際的な視点と日本の伝統を繋ぐ架け橋になりたいと強く思っています。

宮崎は単なる仕事場ではなく、私の「日本の故郷」です。ここには私の大切な友人たちや日本の家族がいます。私の心はこの太陽の都市にあり、近い将来もこの宮崎の地で過ごすことを心に決めています。



### ◇MIA NEWSに記事を書きませんか

自分の国の紹介、海外旅行記、海外留学体験記、ホストファミリートラベル、各国際交流・協力団体の活動など、国際交流・協力に関する記事を書いてみませんか。1200字程度で、写真1~2枚、文字数は1200字以下でもかまいません。1200字以上書きたいという方は協会にご相談ください。名前を掲載したくないという方も考慮いたします。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。



## 「中国の冬至」

~都城市中国国際交流員 謝均姫さんによる中国紹介~

12月22日、二十四節気の第22番目である「冬至」を迎えるました。中国では「冬至大过年」(冬至は新年とより大切な日)という言葉があります。昔、皇帝は北京の天壇で天を祭り、一般の人は神や祖先を祭った後、一家団らんで宴を楽しみ、冬を祝いました。

### ◇ 冬至の味

中国では、冬至の日に北方地域では水餃子を、南方地域では湯円(タンエン、もち米で作った団子)を食べるのが一般的です。「南円北餃」、どちらでも家庭の味です。

水餃子の形が耳に似ているため、北方には「冬至に水餃子を食べないと、耳が凍えても誰も助けてくれない」という言い伝えがあります。寒い冬の日に、茹でたての熱々の水餃子を黒酢につけて食べると、柔らかい皮の中から肉汁が口いっぱいに広がり、体がポカポカと温まります。餃子を食べた後、そのゆで汁を飲むのも体を温める効果があり、ほっとした気分になります。



一方、湯円は丸い形状から「円満」や「団らん」を象徴しており、家族が集まる場面で欠かせない伝統的な食べ物です。冬至や春節の風物詩的な食品だと思われています。湯円の餡は様々な種類があり、甘いものにはゴマやこしあん、ピーナッツ、しょっぱいものには豚肉や野菜などが使われます。

冬至に羊肉スープを飲む人々が最も多いのは西南エリアです。四川省や重慶市の人々はこの日は大好きな「火鍋」はいったん脇に置いて、やさしい味の羊肉スープを飲んでほっこりします。冬になると、西南エリアは、気温が下がると同時に、湿度も高くなります。家族みんなで肩を寄せ合って食卓を囲み、一緒に羊肉スープを飲めば、そんな冬の寒さも吹き飛んでしまいます。



これらの風習には、各地の食文化が表れているだけでなく、人々の健康や家族の団らん、吉祥への願いが込められています。

### ◇ 九を数える

冬至から「数九」が始まります。

最初の9日間を「一九」、次の9日間を「二九」といった具合に、「九九」まで、9日間を9回数える習慣がある。「一九」、「二九」は、寒くて袖から手が出せず、「三九」「四九」は、川がすっかり凍って、その氷の上を歩けるほど、「五九」、「六九」は、川辺のヤナギが芽吹き、「七九」になると川の氷が溶け、「八九」になるとガンが飛来し、「九九」にもう一つ九を加えれば、牛が田畠を耕すようになる。「数九」を通して、天気の変化や冬を終わらせ、春を迎える気持ちを表現しています。



「九九消寒図」も春の訪れを楽しみに待つ方法の一つです。ある消寒図には「亭前垂柳珍重待春風」(亭前の垂柳は春風を待つ)という9画の文字が9つ書かれており、毎日赤いペンで1画ずつなぞり、すべての文字が赤くなると春が来たことを意味します。また、梅の消寒図もあり、紙に1枝の梅が描かれ、その花びらは合わせて81枚で、毎日1枚ずつ赤く染めます。81日後、春が訪れる頃には、梅がすべて紅梅に変わります。

みなさんも、今日は「数九」のうちの第十九目にあたるのか、ぜひ数えてみてはいかがでしょうか。





## 「世界一寒い首都の暖かい冬」

～都城市モンゴル国際交流員 ヒシゲさんによるモンゴル紹介～

12月のウランバートルは、街にイルミネーションが灯り、クリスマスと年末が混ざり合った華やかな雰囲気になります。この時期のことを「シンジル」と呼び、クリスマスと新年を合わせたような行事で、宗教的な意味合いはありません。家族や学校、職場などさまざまな場で新年パーティーが開かれます。シンジルに欠かせないのはクリスマツリー！今回はモンゴルならではのクリスマツリーの飾りを紹介したいと思います。

モンゴルでは子供がいる家庭のほとんどがクリスマスツリーを飾ります。学校や職場では一般的なクリスマスオーナメントだけですが、家庭のツリーにはあるおもしろいものが飾られています！それは…なんとお札！訪れたお客様が、子どもたちへのプレゼントとしてツリーにお金をそっと飾ります。オーナメントの間にお札がひらひらしていて、とてもユニークです（笑）。お金の目安は1～2万トゥグルウグ（約400～1000円）です。子どもたちはもちろん大喜び！また、

お菓子をたくさん積め込んだプレゼントももらいます。

この時期になると、親戚をはじめ、たくさんのお客さんが家に遊びに来ます。賑やかでワクワクする季節です。そしてシンジルが終わると、1月1日に兄弟みんなが集まって、ツリーに飾られていたお金を仲良く分け合います。みんなでわいわいしながら分ける時間は子どもたちにとって最幸のひととき！日本のお年玉文化と似ていて、心がほっこりする習慣です。



最近は、モンゴルのお札だけでなく、外国のお札も飾られることがあります

皆さん、こんにちは。肌寒さを感じる日々から、ついに、本格的な冬が到来しましたね。

以前住んでいた家は、築数十年の古い家で、いろんなところに隙間がありました、窓がピッタリ閉まらなかったり…と、寒さにはめっぽう弱い家で、真冬になると室内が氷点下になることも…。皆さんのお宅はいかがでしょうか？

今のは、断熱性、密閉性が抜群で、以前の家とは雲泥の差。そんな快適なお家の中を一番満喫しているのは、もちろん、我が家の大愛犬アニーちゃん。日の降り注ぐリビングでお昼寝したり、ソファーの上でお昼寝したり、座布団の上でお昼寝したり…。飼い主に似て、お昼寝ばっかりしているアニーちゃんなのです。

[亀谷]

最近、ネットで「外国人が好きなすしネタランキング」が話題になっていました。上位5位は、1位サーモン、2位マグロ、3位エビ、4位ツナマヨ、5位エビ。どれも身近で親しみやすいネタばかりです。とくにサーモンが1位のは「クセがなく食べやすい」「とにかくトロッとしておいしい」という理由みたいです。

一方で、日本人の好きなすしネタランキング1位はやはり「マグロ」。色々な部位があり、「子どもの頃からおなじみの味」という安心感があるからだそうです。世代を超えて愛され続けていますね。

同じ“すし”でも、国によって人気の出るネタが違うのは文化の違いでしょうか。

でも、“すし文化”は少しずつ世界に広まり始めていることは嬉しいですね。

[富吉]

みなさんこんにちは

寒くなってきましたね～。私は夏より冬派なので、遊びに行くのも仕事をするのも冬の方が活発です。ゴルフも夏より冬の方が良いし、旅行も冬に行きたい！

今年は特に調子が良いのですが、何と！秋に人間ドックを受診した際に、重度の貧血だったことが判明し、鉄剤を服用し始めてから階段で息切れしていた日々が嘘のよう（・ω・）ありがとう！鉄分（“ω’’）♪♪

[中瀬]

中国のネットで最近はやっている言葉「何意味」をご紹介します。初めて見たとき、「これ、日本語？」と思ってしまいました。もちろん発音は中国語のピンインで hé yì wèi です。「何」はもともと中国でもよく使われていた漢字ですが、現代中国語では「何」の代わりに「什么（シェンモ）」を使うようになりました。そのせいか、「何」という字には古文っぽい印象があります。たとえば「来者何人」は、「来た者はどちら様だ！」のような意味です。

おわりに、流行語「何意味」の意味ですが、「意味不明」「わけわからん」「迷惑」「なにそれ？」といったニュアンスで使われているようです。

[謝（しゃ）]

こちらのコメントを綴っている今は、中部国際空港から鹿児島空港への早朝便に乗り、そのまま都城まで運転する時間が一時間強だったため、まだ疲労回復できませんでした。とはいっても、今回の名古屋の旅も間違いなくかけがえのない思い出になりました。😊

久々に会った親友とその親友の初めて会った家族、舌を躍らせた矢場とんやコンバルのエビフライサンドといった名古屋名物料理、名古屋と言えば名古屋城や科学館のような観光地巡り、そして最も大事な「真の友と一緒にいる時の爆笑の声」。そういうものに加えて、まるでジャズを奏でているかのようなクールな夜景も重なり、名古屋市にすっかり惚れてしまいました。

[セス]

2025年も残りわずかとなりましたね。皆さんにとってどんな一年でしたか。私にとっては、出来事がいっぱいで充実した一年でした。2025年はあまりランニングできませんでしたが、2026年は夫と一緒にランニングを楽しみたいと思います。追伸：私事ではありますが、しばらくの間、長期休みをいたしました。その間、会員の皆さんと直接交流ができず寂しいですが、また皆さんと楽しく交流できる日を楽しみにしています。

皆さん、どうぞ良いお年をお迎えください！

笑顔と幸せにあふれる素敵な一年になりますように。

[ヒシゲ]

早いもので師走になりました。今年も役員の方々、団体会員、個人会員の皆様のご協力をいただいて、イベントを開催することができました。また、日本語練習会も講師の皆様の御協力を得て、金曜日、日曜日開催することができました。今年は受講者のなかでN2受験者も出ました。素晴らしい成果だと思います。深くお礼を申し上げます。明けて、2月8日(日)には都城MJホールにおいて、「ワールドフェスティバル2026」を開催いたします。多くのご来場をお待ちしております。皆様、よいお年をお迎えください。

[藤元]

ルカスさんと話している時に、勉強したことのあるドイツ語を頭の奥底から思い出していました。「私は学生です、20歳です、ドイツ語を勉強しています」。もはや学生でも20歳でも勉強中でもないので、役に立ちそうなのは「ein Glas Wein（グラス1杯のワイン）」だけでした。

[追田]

今月の1日にモンゴルの首都ウランバートル市で「モンゴルにおける日本語教育50周年記念事業の開催」という催し物がありました。

1975年モンゴル国立大学に日本語コースが開講されたことが、モンゴルにおける日本語公教育の始まりとなっているだそうです。

親日感が大きいモンゴルでは日本文化が好きな若い世代の中で独学や漫画・アニメを通して日本語を学ぶことも増えていますので、日本語学習者として嬉しいです。皆様、HAPPY NEW YEAR！

[ソヨ]